

前回の質疑応答の概要

(木村 潔委員)

就労に関しては、就労継続支援 A 型・B 型、ハローワーク等様々な支援機関が存在するが、なぜ障害者就業・生活支援センターの利用者のみを対象としているのか。

(事務局)

障害者就業・生活支援センター以外の支援機関を除外しているのではなく、利用している機関に加えて、障害者就業・生活支援センターへの登録を要件としている。

(木村 潔委員)

養成講座が各地で開催されているが、就労先が見当たらない。就労先についてどのようにお考えか。

(事務局)

障害福祉サービス事業所、精神科病院・診療所、特例子会社、行政の相談窓口等が考えられる。他の当事者の方を支援する場で就労することを基本としたい。

(木村 潔委員)

事業としてシンポジウムがあがっているが、具体的に何を行うか。

(事務局)

ピアサポート専門員については、ピアサポーターについての理解は社会の中で十分に深まっていない状況である。シンポジウムを通して、事業の普及を図り、併せて、社会参加の形としてピアサポートがあるということを啓発していく機会としたい。

(桑田委員)

ピアサポート専門員が相談支援専門員やサービス管理責任者として活動する場合、各々実務経験を要するが、資格取得にあたって、ピアサポート専門員としての経験年数は、資格を有しない一般の方と同様の経験年数、例えば 10 年などが求められるのか。

(事務局)

お察しのとおり。